

〔註〕

- 一、 山崎省三編集『槐多の歌へる』（アルス、一九二〇年六月一五日）所載の「書簡集」（五七四頁）。ただし、国立国会図書館の蔵本の奥附では、書名の「槐」は「塊」に見え、発行年は「大正九月」とあり、発行日は「十五」が手書きで消されて「貳拾」と訂正されている。引用文において、原文の改行はそのまま再現した。各行の冒頭に一字分の空白がないのも原文の通りである。書簡の時期は末尾に「三八、一九」（五七七頁）とあることに基づくが、これが消印と書簡の日付のどちらなのかは不明である。なお、この書簡は、村山槐多『村山槐多全集 増補版』（彌生書房、一九九三年三月一〇日、四一五頁、書簡の時期は四一七頁）でも読むことができる。引用文のテキストは、末尾の「ひ」が同書では「へ」とされている点異なる（改行、各行の冒頭の一字分の空白、漢字の字体の違いについては比較していない）。

- 二、 無署名「武侠世界社天狗倶楽部發起暑中壮快旅行」（『武侠世界』第三卷第九号、一九一四年八月一日、七二頁、本稿四頁参照、表題は目次では「暑中壮快旅行」になっている）、針重生「編輯室より」（『武侠世界』第三卷第九号、一三二頁、本稿五頁参照、目次では無署名）。

三、 無署名「奇峰庚申山と天地人の怪窟」(『武侠世界』第三卷第九号「註二の文献」、七一頁、本稿三頁参照)。なお、目次では執筆者名と表題は、現人生「庚申山と天地人の怪窟」になっている。

四、 無署名「奇峰庚申山と天地人の怪窟」(註三の文献、七六頁、本稿三頁参照)。

五、 無署名「本社主催壮快旅行」(『武侠世界』第三卷第一〇号、一九一四年九月一日、口絵「頁数無表記」、表題は目次では「本社主催夏期^{トウ}壮快旅行」になっている、以上は今回の資料の書誌情報である)、押川春浪・弓館小鱈・針重敬喜・水谷竹紫「テング非天狗壮快旅行記」(『武侠世界』第三卷第一〇号、二〇〜二七頁、執筆者名と表題は目次でも同じ表記になっている、左記の第一のハイパーリンク参照)、無署名「本社主催壮快旅行感想記」(『武侠世界』第三卷第一〇号、三三〜四三頁、目次では執筆者名が「隊員一同」になっている、左記の第二のリンク参照)。なお、右に挙げた二件目の記事の「テング非天狗壮快旅行記」という表題からも分かるように、今回の旅行に関する一連の記事には「天狗倶楽部」や「天狗」という言葉が頻出するが(ここでは逐一出典を示すことはしない)、これは押川春浪がその中心人物であったスポーツ社交団体「天狗倶楽部」及びそのメンバーのことかと思われる(左記の第三のリンク参照)。

<http://www.sekineshoji.net/shiryomeika/sakka/kaifa/tengutengu.htm>

<http://www.sekineshoji.net/shiryomeika/sakka/kaifa/honsha/honsha.htm>

「天狗倶楽部」 『フリー百科事典 ウィキペディア日本語版』、二〇一三年六月
一二日午前七時五九分「UTC」最終更新、二〇一三年六月一五日閲覧)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A9%E7%8B%97%E5%80%B6%E6%A5%BD%E9%83%A8>

六、 森岡一成「此意気を見よ！」 『武侠世界』第三卷第一〇号「註五の文献」、三五
頁、左記のハイパーリンク参照)。なお、表題の「！」は、原文では同じ記号が横
に二つ並んでいるが、再現できなかったので一つだけにした。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaiza/honsha/honsha.htm>

七、 『村山槐多全集 増補版』（註一の文献、四〇八頁）。書簡の時期は末尾に「三、
八、六」（同頁）とあることに基づくが、これが消印と書簡の日付のどちらなのか
は不明である。

八、 『槐多の歌へる』所載の「書簡集」（註一の文献、五五六頁）。書簡の時期は末尾
に「三、六、六」（五五七頁）とあることに基づくが、これが消印と書簡の日付の
どちらなのかは不明である。『村山槐多全集 増補版』（註一の文献）からの引用
文とテキストは一致する（冒頭の一字分の空白、漢字の字体の違いについては比較
していない）。

九、 無署名「奇峰庚申山と天地人の怪窟」（註三の文献、七一〜七六頁）。

一〇、無署名「奇峰庚申山と天地人の怪窟」(註三の文献、七一頁)。テキストの冒頭に一字分の空白がないのは原文の通りであるが、改行は再現していない。

一一、「！」は、原文では同じ記号が横に二つ並んでいるが、再現できなかったので一つだけにした。

一二、無署名「奇峰庚申山と天地人の怪窟」(註三の文献、七一〜七六頁)。

一三、無署名「奇峰庚申山と天地人の怪窟」(註三の文献、七六頁)。引用文において、段落冒頭の一字分の空白は原文の通りであるが、改行は再現していない。

一四、「上京て」は原文の通りであり、「上京」に「やつ」というルビが振られている。

一五、無署名「武侠世界社天狗倶楽部發起暑中壮快旅行」(註二の文献、七二〜七三頁)。

一六、無署名「武侠世界社天狗倶楽部發起暑中壮快旅行」(註二の文献、七二〜七三頁)。テキストの冒頭に一字分の空白がないのは原文の通りであるが、改行は再現していない。

一七、「(同地より直ちに帰京するも可也。他方面に随意旅行を為すも可也。)」という部分は、原文では、括弧の中で「同地より直ちに帰京するも可也。」と「他方面に随意旅行を為すも可也。」の二行に分かれているが、再現できなかった。

一八、「(但し日光解散後帰京の汽車賃を含まず。会費に剰余を生ぜし時は会計報告と共に割戻す。)」という部分は、原文では、括弧の中で、「但し日光解散後帰京の汽車賃を含まず。」が「但し日光解散後帰京」と「の汽車賃を含まず。」の二行に分かれているが、ここで改行があり、「会費に剰余を生ぜし時は会計報告と共に割戻す。」が「会費に剰余を生ぜし時は」と「会計報告と共に割戻す。」の二行に分けて配置されている。しかし、本稿ではいずれも再現できなかった。

一九、「り」の後に句読点がないのは原文の通りである。

二〇、『『『武侠世界』第三卷第九号』(註二の文献)の奥附(一二三二頁)によれば、『『武侠世界社』の当時の住所は「東京小石川区三軒町」である。

二一、無署名「『『武侠世界社天狗俱樂部發起暑中壯快旅行』」(註二の文献、七三頁)。

二二、「！」は、原文では同じ記号が横に三つ並んでいるが、再現できなかったのの一つだけにした。

二三、無署名「『『武侠世界社天狗俱樂部發起暑中壯快旅行』」(註二の文献、七三頁)。

二四、針重生「『『編輯室より』」(註二の文献)。引用文において、段落の冒頭に一字分の空白がないのは原文の通りであるが、改行は再現していない。

二五、この文の末尾に句点がないのは原文の通りである。

二六、針重生「編輯室より」(『武俠世界』第三卷第八号、一九一四年七月一日、一三二頁)。この引用文は、文末などに句読点がない場合が少なくないが、全て原文の通りに再現した。

二七、「椽」は、筆者が参照した日本近代文学館の蔵本からの複写では不鮮明なので、別の字である可能性も否定はできない。

二八、この文の末尾に句点はないと思われるが、筆者が参照した日本近代文学館の蔵本からの複写では不鮮明なので、断言はできない。

二九、水谷竹紫「(四) 春浪將軍の奇蹟」(『武俠世界』第三卷第一〇号「註五の文献」、二七頁、左記のハイパーリンク参照)。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/tengu/tengu.htm>

三〇、「押川春浪」から「水谷竹紫」までの文章は、押川春浪・弓館小鰐・針重敬喜・水谷竹紫「テング非天狗壮快旅行記」(註五の文献、左記の第一のハイパーリンク参照)に、「遠藤盛弥」から「松本芳山」までの文章は、無署名「本社主催壮快旅行感想記」(註五の文献、左記の第二のリンク参照)に載っている。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/honsha/honsha.htm>

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/honsha/honsha.htm>

三二、「太田重雄」と「しげを」が同一人物だと思われることについては、註三七も参照されたい。

三三、冷灰「旅中偶成」『武俠世界』第三卷第一〇号「註五の文献」、三四頁、左記のハイパーリンク参照）。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/honsha/honsha.htm>

三三、「冷灰」が誰であるのかについては、本稿の註三七と一〇〇―一〇一頁も参照されたい。

三四、小島靖弘「遺憾千万なり」『武俠世界』第三卷第一〇号「註五の文献」、三六頁、左記のハイパーリンク参照）。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/honsha/honsha.htm>

三五、押川春浪「(一) 耳の側で法螺貝ブーブ」『武俠世界』第三卷第一〇号「註五の文献」、二二頁、左記のハイパーリンク参照）。

二六、弓館小鱈「(二二) 気味の悪いこと夥しい」(『武侠世界』第三卷第一〇号「註五の文献」、二二頁、左記のハイパーリンク参照)。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/tengu/tengu.htm>

二七、弓館小鱈「(二二) 気味の悪いこと夥しい」(註三六の文献、二三頁、左記の第一のハイパーリンク参照)、青戸如風「三国同盟の成立」(『武侠世界』第三卷第一〇号「註五の文献」、四二頁「二箇所」、左記の第二のリンク参照)、松本芳山「乗りおくれの記」(『武侠世界』第三卷第一〇号、四三頁「三箇所」、左記の第二のリンク参照)。また、針重敬喜「(三三) 脚が地を離れぬ」(『武侠世界』第三卷第一〇号、二四頁、左記の第一のリンク参照)では「小川重ちゃん」、水谷竹紫「(四四) 春浪將軍の奇蹟」(註二九の文献、二五頁、左記の第一のリンク参照)では「小川の重ちゃん」と書かれている。もし「小川」の名前の「重」を「しげ」と読むのなら、しげを「狂句とりぐ」(『武侠世界』第三卷第一〇号、三九〜四〇頁、左記の第二のリンク参照)の執筆者はこの人物である可能性もあるが、「重」のルビはいずれも「ぢゆう」であり、しかも感想文中には「初日」(三九頁)のことが書かれているので、この「しげを」は二日目から合流した「小川」ではなく「太田重雄」であると思われる。また、文章の執筆者の中で誰であるのかが分らない「冷灰」の感想文には「庚申山」の「夕だち」についての記述があるので、「冷灰」も初日から参加していることが分かる。冷灰「旅中偶成」(註三二の

文献、左記の第二のリンク参照) 参照。したがって、「小川」が「冷灰」である可能性も否定される。なお、「小川」は天狗倶楽部の一員であった「小川重吉」(読みは不明) であるかもしれない。「天狗倶楽部」(註五のウエブページ、左記の第三のリンク参照) 参照。

<http://www.sekinseshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/honsha/honsha.htm>

<http://www.sekinseshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/honsha/honsha.htm>

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A9%E7%8B%97%E5%80%B6%E6%A5%BD%E9%83%A8>

二八、弓館小鱧「(二二) 気味の悪いこと夥しい」(註三六の文献、二三頁、左記の第一のハイパーリンク参照)、青戸如風「三国同盟の成立」(註三七の文献、左記の第二のリンク参照)、松本芳山「乗りおくれの記」(註三七の文献、左記の第二のリンク参照)。

<http://www.sekinseshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/tengu/tengu.htm>

<http://www.sekinseshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/honsha/honsha.htm>

二九、弓館小鱧「(二二) 気味の悪いこと夥しい」(註三六の文献、二三頁、左記のハイパーリンク参照)。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/tengu/tengu.htm>

四〇、針重敬喜「(二三) 脚が地を離れぬ」(註三七の文献、二四頁、左記のハイパーリンク参照)。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/tengu/tengu.htm>

四一、水谷竹紫「(四) 春浪將軍の奇蹟」(註二九の文献、二六頁「二箇所」、左記のハイパーリンク参照)。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/tengu/tengu.htm>

四二、奥村二秋「作戦計画滅茶滅茶」『『武俠世界』第三卷第一〇号「註五の文献」、四二頁、左記のハイパーリンク参照)。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/honsha/honsha.htm>

四三、無署名「『武俠世界社天狗俱樂部發起暑中壯快旅行」

(註二の文献、七三頁、本稿五頁参照)。また、旅行の参加者だとは書かれていないが、押川春浪「(一一) 耳の側で法螺貝ブーブー」(註三五の文献、二〇～二二頁、左記のハイパーリンク参照)において、この旅行が企画された経緯に触れている箇所にも小杉未醒は登場する。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/tengu/tengu.htm>

四四、無署名「武侠世界社天狗倶楽部発起暑中壮快旅行」（註二の文献、七三頁、本稿五頁参照）。

四五、「天狗倶楽部」（註五のウェブページ、左記のハイパーリンク参照）。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A9%E7%8B%97%E5%80%B6%E6%A5%BD%E9%83%A8>

四六、天狗倶楽部には、「入退会に特に手続きはなく、また会員名簿もなかったため、メンバーと非メンバーに明確な境があったわけではない」という。「天狗倶楽部」（註五のウェブページ、左記のハイパーリンク）参照。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A9%E7%8B%97%E5%80%B6%E6%A5%BD%E9%83%A8>

四七、無署名「武侠世界社天狗倶楽部発起暑中壮快旅行」（註二の文献、七二頁、本稿五頁参照）。

四八、「天狗倶楽部」（註五のウェブページ、左記のハイパーリンク参照）。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A9%E7%8B%97%E5%80%B6%E6%A5%BD%E9%83%A8>

四九、註四三参照。

五〇、押川春浪「(一) 耳の側で法螺貝ブーブ」(註三五の文献、二二頁、左記のハイパーリンク参照)に、旅行の初日に庚申山の山頂の社務所に達して夕食を取ったとあるが、既に暗くなっていたかもしれないので、撮影したのは翌日である可能性もあるだろう。

<http://www.sekinseshoji.net/shiryomeika/sakka/kaita/tengu/tengu.htm>

五一、一行が華嚴の滝を見たのは三日目である。水谷竹紫「(四) 春浪將軍の奇蹟」(註二九の文献、二六～二七頁、左記の第一のハイパーリンク参照)、遠藤盛弥「人間は倫理的動物である」『武俠世界』第三卷第一〇号「註五の文献」、三四頁、左記の第二のリンク参照) 参照。

<http://www.sekinseshoji.net/shiryomeika/sakka/kaita/honsha/honsha.htm>

<http://www.sekinseshoji.net/shiryomeika/sakka/kaita/honsha/honsha.htm>

五二、写真を見ると、湖で泳いでいる人が複数いるが、彼らはおそらく旅行の参加者であろう。水谷竹紫「(四) 春浪將軍の奇蹟」(註二九の文献、二六頁、左記のハイパーリンク参照)によれば、一行が中禪寺湖で泳いだのは三日目である。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/tengu/tengu.htm>

五三、太田孝「印象のかずく」『マ 武俠世界』第三卷第一〇号「註五の文献」、三八頁、左記のハイパーリンク参照）。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/honsha/honsha.htm>

五四、水谷竹紫「(四) 春浪將軍の奇蹟」(註二九の文献、二六頁、左記のハイパーリンク参照)。

<http://www.sekineshoji.net/shiryo/meika/sakka/kaita/tengu/tengu.htm>

執筆者・発行者 植田智晴

二〇一三年二月二〇日 初稿発行

二〇一三年六月二二日 第二稿発行

二〇一三年十二月一六日 第三稿発行

© UEDA Tomoharu 2013-2023

この PDF の無断での転載、複製などは禁止とさせていただきます。